

令和4年度 飯豊地区市政座談会 提案課題と回答

日時：令和4年7月29日（金）午後6時～

場所：飯豊地区交流センター

■提案課題①

交通渋滞解消に向けた取り組みについて

➤市からの回答

- ・成田黒沢尻線→伊勢神社北側でラウンドアバウトが今年度供用開始、キオクシア南西で右折レーン設置済、右折信号は警察に要望中。
- ・川原町南田線→黒工北側からキオクシア交差点まで、7月から三車線化供用開始。
- ・キオクシア北側飯豊14号線は整備済みであり、キオクシア東側東部道路は今年度完了予定です。
- ・宿成田線→しみず斎園東側の拡幅整備は今年度完了予定。
- ・その他、工業団地の更なる拡幅整備に伴い、飯豊14号線交差点の右折信号要望については状況をみながら判断します。
- ・「立体交差についての可能性調査と費用対効果の検証を行いJR東日本と協議」→国道4号拡幅事業の具体的な進捗がみえてきたこと、及びキオクシアの建設や周辺状況の変化をみながら検討に入ります。国と市が足並みを揃えて進むことが必要であることから、時期を見てJR協議を考えております。

■提案課題②

アパート増に伴う広報配布について

➤市からの回答

- ・ある地区では、アパート等集合住宅の所有者や管理会社と話し合い、広報等の文書配布に協力いただいている事例があります。
- ・なお、アパート等集合住宅への文書配布について、今年度モデル地区を設定し、負担軽減に向けた取り組みを実施することとしており、効果的な配布について今後検討を進めてまいります。
- ・また、5月に地域づくり組織への巡回相談を行った際、広報等文書配布にあたり、市が把握しているアパート等集合住宅の建築予定につい

てお知らせを希望するか確認したところ、希望する地区が多かったため、5月より文書配布の御担当者へ集合住宅建築予定の場所や戸数の情報提供を行っております。

■提案課題③

学童保育所の増設について

➤市からの回答

- ・市としては、学習室やホールの面積をもとに求められる受入可能児童数が約190名であるのに対し、令和4年度当初の利用児童数が142名と余裕があることから、飯豊学童保育所の増設については現時点で検討しておりません。
- ・保育施設については、現在、市内の定員に余裕があるほか、令和6年度には北上駅付近に認定こども園が新たに開園予定であるなど、保育の受け皿は十分に確保されていることから、工業団地内への誘致は考えておりません。

■提案課題④

駐車場造成工事による埃対策について

➤市からの回答

- ・キオクシアの第2製造棟建築工事での土砂の運搬に伴う道路上の粉塵、埋め立てしている敷地から空気が乾燥したときに風に乗って近隣のりんご畑へ粉塵の影響が出たことについて、市からも工場建設を受注している清水建設や埋め立て敷地を管理している小原建設に散水車や防塵ネット等により再発防止対策を徹底するよう要請しております。
- ・今後も工事の実施にあたり地域への事前説明のほか、工事期間中の風雨対策、粉塵対策などについて十分配慮するよう要請して参ります。

■提案課題⑤

市営塚腰住宅の「跡地利用」について

➤市からの回答

- ・市営塚腰住宅の跡地は公売の結果、本市に事業所がある「ジャパンマテリアル株式会社」様が取得され、現在、寄宿舍を建設する計画があるとお聞きしております。なお、当該地域は用途制限があり、戸建て住宅や共同住宅、寄宿舍の他、小規模な事務所等は建設できますが、一定規模以上の店舗や工場等は建設できないこととなっております。
- ・新たな住民に対しては、ゴミの出し方について、建物所有者の協力を得てルールを周知してまいります。地域でともに暮らす仲間として、新たな住民の方々を温かく迎え入れていただき、協力してよりよい地域づくりに取り組んでいただければと思います。

■提案課題⑥

工業大学の設立について

➤市からの回答

○具体的な大学のビジョンについて

- ・市ではこれまでも大学設置期成同盟会を結成するなど、大学設置の可能性について模索してまいりましたが、社会情勢の変化等により実現には至りませんでした。
- ・一方、若年層の人口流出、生産年齢人口の減少等による地域産業を担う人材の不足といった問題が顕在化しており、これらを解決する手段の一つとして、大学等高等教育機関の設置検討を新たな総合計画に盛り込んだところです。
- ・これを受け、近未来政策研究所が令和3年度に行った「大学等高等教育機関設置のあり方に関する研究」では、市が主体性を持って地域の未来を支える人材を育成・確保する観点から、大学設置をまちづくりの新たな手段として位置づけました。
- ・なお、一部新聞では、市立大学の設置を前提に準備を進めるかのような報道がなされておりましたが、国立・私立大学の誘致も含め間口を広げながら検討を進め、年度内を目途に設置の可否を総合的に判断しようと考えております。

○大学設置と北部産業業務団地で進めようとする研究開発施設等の誘致との関連について

- ・令和2年6月の北部産業業務団地の整備に係る地域説明会で説明した当該団地への研究開発施設や企業の誘致と、今回の大学設置検討とは直接的に関係はございません。
- ・しかしながら、当市に工学系の大学を設置した場合、誘致した研究開発施設等との共同研究や、大学において専門的な知識や高度な技術を修得した人材が地域産業の担い手になることなど、大学と当該研究開発施設や地域企業との連携促進が、地域経済の発展や人材の育成・確保に大きく寄与するものと考えております。